

今日のトピック IMFの世界経済見通しは4回連続の下方修正 貿易摩擦の激化回避など実現なら2020年に景気持ち直しへ

ポイント1

2019年の世界経済の成長率見通しは▲0.1ポイント下方修正 先進国は上方修正となった一方、新興国は下方修正が続く

- 23日に発表された国際通貨基金（IMF）の世界経済見通しでは、2019年の世界経済の成長率が3.2%と、今年4月時点の見通しから▲0.1ポイント下方修正されました。昨年10月時点、今年1月時点および今年4月時点でも下方修正されており、4回連続の引き下げとなりました。
- 国・地域別では、先進国が+0.1ポイント上方修正された反面、新興国が▲0.3ポイント下方修正されました。先進国では、日本が▲0.1ポイント下方修正されたものの、米国が1-3月期の実績を踏まえて+0.3ポイントと大きく上方修正されました。英国も+0.1ポイント上方修正されましたが、秩序ある欧州連合（EU）離脱（Brexit）が前提となっています。一方、新興国は、ブラジルが▲1.3ポイント、メキシコが▲0.7ポイントと大きく下方修正されるなど、全体的に引き下げられました。

ポイント2

新興国は関税などで引き下げ 貿易摩擦激化などが 世界経済の下振れリスクに

- ブラジルとメキシコは独自要因による影響が大きいとしており、ブラジルは年金改革法案の議会承認をめぐる不透明感を背景としたセンチメントの悪化、メキシコは政策の不確実性や景況感の悪化などを受けた投資・消費の弱さをあげています。
- また、アジアも中国やインドなどを小幅下方修正していますが、これは関税が貿易や投資に及ぼす影響によるものとしています。
- 見通しの下振れリスクとしては、貿易摩擦の激化や英国の合意なきBrexit、中国経済の想定以上の減速などを指摘しました。

【IMF世界経済見通し】 (%)

年	2018	2019	2020	4月見直しからの変化	
	(実)	(予)	(予)	2019	2020
世界GDP	3.6	3.2	3.5	▲0.1	▲0.1
先進国	2.2	1.9	1.7	0.1	0.0
米国	2.9	2.6	1.9	0.3	0.0
ユーロ圏	1.9	1.3	1.6	0.0	0.1
ドイツ	1.4	0.7	1.7	▲0.1	0.3
フランス	1.7	1.3	1.4	0.0	0.0
イタリア	0.9	0.1	0.8	0.0	▲0.1
日本	0.8	0.9	0.4	▲0.1	▲0.1
英国	1.4	1.3	1.4	0.1	0.0
オーストラリア	2.8	2.1	2.8	-	-
新興国	4.5	4.1	4.7	▲0.3	▲0.1
ロシア	2.3	1.2	1.9	▲0.4	0.2
中国	6.6	6.2	6.0	▲0.1	▲0.1
インド	6.8	7.0	7.2	▲0.3	▲0.3
ASEAN5	5.2	5.0	5.1	▲0.1	▲0.1
ブラジル	1.1	0.8	2.4	▲1.3	▲0.1
メキシコ	2.0	0.9	1.9	▲0.7	0.0

(注1) オーストラリアは2019年4月の見通し。

(注2) ASEAN5はインドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

(出所) IMFのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

IMFは条件付きで2020年 の景気持ち直しを予想

- IMFは上述の下振れリスクに言及しつつも、メインシナリオとしては、新興国経済・市場の安定や貿易摩擦の状況がこれ以上悪化しないことなどを前提に、2020年に景気が持ち直すと予想しています。
- 貿易摩擦の最たる例といえる米中貿易摩擦は長期化する可能性があるものの、両国は6月末の米中首脳会談において交渉再開で合意し、足元では高官による対面での協議再開の予定が報じられるなど、事態の改善に向けた動きがみられます。状況は予断を許さないものの、その展開が引き続き注目されます。

ここも チェック!

2019年7月8日 吉川レポート（2019年7月）G20サミットを受けた経済・金融シナリオ
2019年7月3日 先月のマーケットの振り返り（2019年6月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。